

## ことばの教室保育指導案

### 1 幼児の実態と教師の願い（省略）

### 2 期のねらいと内容（9月～12月）

- ことばの教室での活動や家庭・協力学級での遊びを楽しみ、体全体や発語器官の動きを活発にする。
- 保護者や先生と一緒に遊びを楽しむ中で、自信をもって主体的にことばの教室の活動をしようとする。
- 「ザ・ズ・ゾ音」と「ジャ・ジュ・ジョ音」の違いに気を付けて、正しく発音しようとする。
  - ・保護者や先生と一緒に体全体を動かす遊びやふれあい遊び、口・舌をしっかり動かす口の体操やリラックスさせる活動に取り組むことで、発語器官の動きを滑らかにする。
  - ・興味のある遊びを保護者や先生と一緒に楽しみ、少しずつ成功体験を積み重ねていくことで、安心感や自信をもって活動する。
  - ・遊びの中で正しい音と置換している音を聞き分ける力を獲得していき、自信をもって聞き分けたり正しく発音しようとしたりする。

### 3 本日のねらいと内容

- 保護者や先生と一緒に活動する中で、伸び伸びといろいろな遊びを楽しむ。
- 遊びの中で「ザ行音」を正しく発音しようとする。
  - ・発語器官の動きが活発になるよう、先生や保護者と一緒に口や舌の体操や体全体を使った活動を楽しむ。
  - ・先生や保護者と活動を楽しみ、「ザ行音」に気を付けて聞き分けたり発音しようとしたりする。

### 4 年間の指導計画

内 容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3(月)
全身を動かす遊び	(ジャンピング, つり橋渡り, ケンケンパー など) →											
指先を動かす遊び	(簡単なおもちゃ作り, 折り紙 など) →											
呼吸を調節する遊び	(吹く遊び, 吸う遊び など) →											
発語器官の動きをよくする遊び	(口や舌の体操, 水飛ばし など) →											
聞き分け遊び	(言葉の正誤弁別) →											
構音指導 (サ行音)	→											
構音指導 (シャ行音)	→											
構音指導 (ザ行・ジャ行音)	→											
構音指導 (ツ音)	→											
言葉遊びや会話のやりとりがある遊び	(カード遊び, ○×ゲーム, なぞなぞ など) →											

## 5 本日の指導計画

予想される幼児の活動	指導の要点と環境構成
<p>○始めの挨拶をする。</p> <p>○全身を動かす遊びをする。 ・サーキット遊びをする。 ・ふれあい遊びをする。</p> <p>○発語器官の動きをよくする遊びをする。 ・口の体操や舌の脱力をする。</p> <p>○聞き取り遊びをする。 ・「ザ・ズ・ゾ音」の正誤弁別をする。</p> <p>○手作りの大型ジェンガで遊ぶ。 ・ジェンガに付いているカードを見て「ザ行音」を正しく発音しようとする。</p> <p>○終わりの挨拶をする。</p>	<p>○リラックスできるよう笑顔で迎え入れ、明るく会話をしながら幼児と保護者の心身の状態を把握する。</p> <p>○幼児と保護者の安心や安全に留意し、伸び伸びと体を動かして遊べるように活動内容や大型の遊具の配置などを工夫する。</p> <p>○幼児が興味をもって取り組めるよう手作りした絵カードを使い、保護者や教師と一緒に口の体操をすることでリラックスしながら活動し、口全体の動きが滑らかになるよう援助する。</p> <p>○聞き分けられる音を使って○×ゲームをし、自信をもって活動に取り組めるようにする。</p> <p>○一般的な言葉の他に、幼児が好きなキャラクターの名前なども取り入れ、言葉の音に少しずつ関心をもって正しく聞き分けられるようにする。</p> <p>○発音に気を付けることができるようその都度認めたり、助言したりしながらも、大きな遊具を使って保護者や教師と一緒に体を使ってダイナミックにゲームを楽しめるようにする。</p> <p>○少しでも正しく発音できた時には十分に認め、自信や次の活動への意欲につながるようにする。</p> <p>○本時の活動を振り返り、頑張ったところやよかったことを伝え、次回の通級を楽しみに感じられるようにする。</p>
評価	<p>(幼児の育ちを捉える視点)</p> <p>○教師や保護者と一緒に活動する中で、できるようになったことに自信をもって取り組み、遊びを楽しむことができたか。</p> <p>(自らの保育を振り返る視点)</p> <p>○幼児や保護者が安心して伸び伸びと活動できるような環境構成や援助ができたか。</p>